

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生涯学習課
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立
分野別方針	(11) 適正な公有財産管理	実施計画事業	1) 公有財産管理運営事業(No.85)
予算等事業名	ふたみ記念館管理運営事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置。 ・行財政運営の効率化による経費の重点配分。 		
内容	町民の文化の振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための管理運営経費		
根拠法令 ・条例等			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか
<input type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している <input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理 由

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理 由

中間評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】
------	--

総合評価

実績	ふたみ記念館の管理運営		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	利用者数		
前期(27年度)目標値 単位:			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,814	5,386				
財源内訳	一般財源	5,362	4,907				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	452	479				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の芸術・文化の振興を図るため、公費投入は妥当である。	
有効性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 町が主導となり、ボランティアや専門家の意見を聞きながら実施するべきである。	
効率性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がってない	B
	【説明】 町の芸術の拠点として徐々に認知されつつある。	
総合評価	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 より費用をかけずに効果をあげる必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	
	さらなるPRと経費削減を進めていく必要がある。	
	観光と芸術の両拠点として効果的なPR方法を検討していく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	②改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④廃止
理由	町民の文化の振興の場として、ふたみ記念館を効果的に活用するための経費である。						
今後の方向性	今後も継続して行くが、経費の削減と施設の有効利用を検討する。						